

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間:令和5年3月～令和6年2月



片岡建設株式会社

〒781-1151高知県土佐市中島209番地

TEL:088-852-0576

FAX:088-852-0059

E-meil:kataken@wind.ocn.ne.jp

目 次

- 1・組織の概要
- 2・対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
- 3・環境経営方針
- 4・環境管理組織体制
- 5・環境経営活動への取組の全体概要
- 6・環境経営目標
- 7・環境経営計画
- 8・環境経営目標の実績
- 9・環境経営計画の取組結果とその評価
- 10・次年度の取組内容
環境経営目標、環境経営計画
- 11・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 12・代表者による全体の評価と見直し・指示

発行日：令和6年3月1日

発行責任者：環境管理責任者 片岡 優弥

次回発行予定：令和7年3月頃

1・組織の概要

【事業所名】



【代表者氏名】

代表取締役会長 片岡 裕明

代表取締役社長 片岡 弘

本社 〒781-1151 高知県土佐市中島209番地
倉庫 〒781-1152 高知県土佐市用石843番地1
第2倉庫 〒781-1151 高知県土佐市中島206番地1

* 倉庫・第2倉庫は無人の為連絡先はありません

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名

専務取締役 片岡 優弥

連絡先担当者氏名

代表取締役社長 片岡 弘

連絡先

TEL:088-852-0576

FAX:088-852-0059

E-meil:kataken@wind.ocn.ne.jp

HPアドレス:<https://kataoka-k.com/>

【事業活動の内容】

総合建設業(主に建築工事業を行っています)

建設業許可

許可番号	高知県知事 許可(特-2)第134号
許可年月日	令和02年10月7日～令和07年10月6日
建設業の種類	建築工事業

許可番号	高知県知事 許可(般-3)第134号	
許可年月日	令和03年8月16日～令和08年8月15日	
建設業の種類	土木工事業	舗装工事業
	とび・土工工事業	しゅんせつ工事業
	石工事業	水道施設工事業
	鋼構造物工事業	

許可番号	高知県知事 許可(般-2)第134号	
許可年月日	令和02年10月7日～令和07年10月6日	
建設業の種類	大工工事業	内装仕上工事業
	屋根工事業	解体工事業

【産業廃棄物収集運搬許可】 許可番号 第03900166862 許可年月日 令和4年6月21日(5年間有効)
建築設計 1級建築士事務所(高知県)知事登録 第1002号 登録年月日 令和4年3月27日(5年間有効)

【事業規模】

設立年月日 1966年9月設立
資本金 2,000万円

	2021年度	2022年度	2023年度
製品生産量・出荷額(売上高) (万円)	12,200	64,700	9,680
従業員数 (名)	6	6	8
事業所敷地面積 (㎡)	579.96	579.96	579.96
事業所延床面積 (㎡)	411.31	411.31	411.31
倉庫敷地面積 (㎡)	361.22	361.22	361.22
倉庫延床面積 (㎡)	175.16	175.16	175.16
第2倉庫敷地面積 (㎡)		558.6	558.6
第2倉庫延床面積 (㎡)		157.47	157.47

【会計年度】

3月～2月

2・対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲】認証・登録範囲

認証登録事業者名:片岡建設有限会社
対象事業所:本社、倉庫、第2倉庫
事業活動範囲:
建築工事・解体工事・土木工事・舗装工事
一級建築士事務所
(尚、産業廃棄物は自社元請負分のみ収集運搬)

【レポートの対象期間】

2023年3月1日～2024年2月29日までの1年間
*レポートの発行については、決算月(毎年2月)の次月とする

【環境レポートの発行日】

2024年3月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 片岡 優弥

3・環境経営方針

環境経営方針

片岡建設有限会社は、「ゆとり暮らしの夢づくり」を念頭に「お客様が幸せになれるよう顧客の満足向上」「お客様・社員にとって魅力ある会社づくり」「すべての基本ルールの徹底」を経営理念に、人からも、社会からも愛される企業づくりをエコアクション21の活動を通じて地域密着型企业とし持続可能な循環型社会の構築に努めます。

【基本方針】

1・ 環境関連法規等の遵守

- ・環境関連法規及び条例、その他会社での成約を遵守します。

2・ 環境負荷の低減及び資源の有効利用

- ・電気や冷暖房時の消費電力の削減を行い、二酸化炭素の削減に努めます。
- ・廃棄物の分別、及びリサイクルの推進に努めます。
- ・環境配慮型の建設工事の推進に努めます。
- ・水使用量の削減に努めます。
- ・グリーン製品又はエコマーク商品等の優先的な購入に努めます。

3・ 会社全体での環境経営方針の取組

- ・環境経営方針の周知徹底のため全社員及び現場従業者への教育・訓練に努めます。
- ・社会貢献活動に積極的に取り組みます。

制定日：令和4年3月1日



片岡建設有限会社

取締役社長 片岡 弘

3・環境経営方針(2024年3月1日見直し)

環境経営方針

片岡建設有限会社は、「ゆとり暮らしの夢づくり」を念頭に「お客様が幸せになれるよう顧客の満足向上」「お客様・社員にとって魅力ある会社づくり」「すべての基本ルールの徹底」の経営理念のもと、人からも、社会からも愛される企業づくりに努め、エコアクション21の活動を通じた環境経営を推進することにより、地域密着型企业として地域の未来「持続可能な循環型社会」の実現に貢献します。

【基本方針】

1・ 環境関連法規等の遵守

- ・環境関連法規及び条例、その他会社での成約を遵守します。

2・ 環境負荷の低減及び資源の有効利用

- ・消費電力や燃料使用などの削減を行い、二酸化炭素の削減に努めます。
- ・廃棄物の分別、及びリサイクルの推進に努めます。
- ・環境配慮型の建設工事への対応力を高め、その推進に努めます。
- ・水使用量の削減に努めます。
- ・グリーン製品又はエコマーク商品等の優先的な購入に努めます。

3・ 会社全体での環境経営方針の取組

- ・環境経営方針の周知徹底のため全社員及び現場従業員への教育・訓練に努めます。
- ・社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- ・環境経営を担う人材の確保・育成に努めます。

制定日:令和4年3月1日

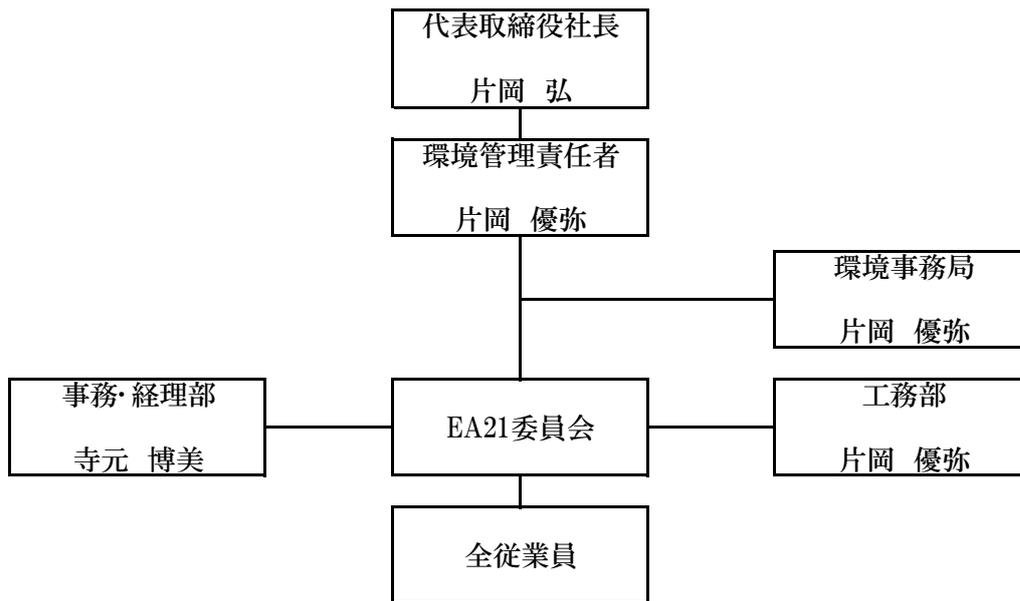
改定日:令和6年3月1日



片岡建設有限会社

代表取締役社長 片岡 弘

4・環境管理組織体制



役割・責任・権限	
代表取締役 (代表者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人・設備・費用・時間・技能・技術者を準備 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境経営目標・環境経営計画・実施体制を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認 環境経営体制の承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・実施・管理 環境関連法規等の取りまとめ表及びこれに基づく遵守評価の結果を確認 環境経営目標・環境経営計画・環境管理実施体制を確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 環境管理体制の確認 教育訓練(緊急事態を含む)の実施を指示 是正・予防処置の決定・指示
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組のチェックの実施 環境経営目標・環境経営計画・環境管理実施体制の原案作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務局に備付け地域事務局への送付)
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの運用・実施に係る社内の連絡・調整
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画・環境管理実施体制・実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5・環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 燃料使用量については、ガソリン及び軽油の使用量が目標をオーバーしました。
- 電力使用量については目標を達成できませんでしたが、計画実施に取り組んでいます。
- 水使用量については目標を達成できました。
- 産業廃棄物排出量については目標を達成でき、排出量を相当削減できました。
- 環境負荷の少ない工事は、全ての現場で実施できました。
- 環境美化活動として、事業所及びその周辺においてロードボランティア活動を実施しています。

<片岡建設有限会社の物質フロー> (2023年度)



作成日：令和6年3月1日

承認	照査	作成
片岡 弘	片岡 弘	片岡優弥

6・環境経営目標（2023年度）

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	2021年度 基準年 2021.3-2022.2	2023年度 目標(-2%) 2023.3-2024.2
売上高		百万円	122	
燃料使用量			11,683	11,449
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,609	5,497
	原単位	(ℓ / 百万円)	45.98	45.06
軽油使用量	総量	(ℓ)	6,074	5,953
	原単位	(ℓ / 百万円)	49.79	48.79
電力使用量	総量	(kwh)	6,746	6,611
	原単位	(kwh/百万円)	55.30	54.19
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	32,280	31,634
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	264.59	259.30
水使用量	総量	(m ³)	237.00	232.26
	原単位	(m ³ /百万円)	1.94	1.90
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	49	48
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.4
産業廃棄物排出量	総量	(t)	914.00	895.72
	原単位	(t / 百万円)	7.49	7.34
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	85	85
グリーン購入	総量	(%)	55	55
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100
社会貢献活動	総量	(回)	12	12

※電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(令和3年度実績)
(令和4年1月31日公表)の四国電力の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kwh)を使用しました。

※グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

※環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用(例)

※化学物質については、使用実態が無いため目標を設定していない。

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2021年度 実績 基準年	2022年度 目標 -1%	2023年度 目標 -2%	2024年度 目標 -3%
売上高		百万円	122			
燃料使用量			11,683	11,566	11,449	11,333
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,609	5,553	5,497	5,441
	原単位	(ℓ / 百万円)	45.98	45.52	45.06	44.60
軽油使用量	総量	(ℓ)	6,074	6,013	5,953	5,892
	原単位	(ℓ / 百万円)	49.79	49.29	48.79	48.29
電力使用量	総量	(kwh)	6,746	6,679	6,611	6,544
	原単位	(kwh/百万円)	55.30	54.74	54.19	53.64
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	32,280	31,957	31,634	31,311
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	264.59	261.94	259.30	256.65
水使用量	総量	(m ³)	237.00	234.63	232.26	229.89
	原単位	(m ³ /百万円)	1.94	1.92	1.90	1.88
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	49	49	48	48
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.4	0.39	0.39
産業廃棄物排出量	総量	(t)	914	904.86	895.72	886.58
	原単位	(t/百万円)	7.49	7.42	7.34	7.27
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	85	85	85	85
グリーン購入	総量	(%)	55	55	55	55
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100
社会貢献活動	総量	(回)	12	12	12	12

※目標値は基準年から1年毎に1%ずつ段階的に削減しました。

※電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(令和4年度実績)
(令和4年1月31日公表)の四国電力の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kwh)を使用しました。

※グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

※環境負荷の少ない工事 (例)
○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

※化学物質については、使用実態が無いため目標を設定していません。

7・環境経営計画

2023年度 期間:2023年3月～2024年2月

項 目		活 動 内 容	担 当 者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	片岡 優弥
		○エコドライブの実施	片岡 優弥
		○最短経路の利用	片岡 優弥
		○タイヤ空気圧等の点検	片岡 優弥
		○定期点検・メンテナンスによる適正利用	片岡 優弥
	電力使用量 削減	○不要時の照明の消灯	片岡 優弥
		○昼休み・帰宅時の消灯	片岡 優弥
		○空調設備の適温化(冷房時28℃暖房時20℃程度)	片岡 優弥
		○OA機器の省電力設定かつ不使用時の電源停止	片岡 優弥
水使用量削減 (排水量削減)	○節水シール貼付けによる啓発	片岡 優弥	
	○漏水点検	片岡 優弥	
	○各現場における工事用水の節水	片岡 優弥	
	○食器類のまとめ洗い	寺元 博美	
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷時の裏紙使用	寺元 博美
		○分別廃棄の徹底	寺元 博美
	産業廃棄物	○マニフェストによる廃棄物の適正な処理	片岡 優弥
		○各現場における廃棄物の分別収集運搬処分	片岡 優弥
グリーン購入	○エコバックの使用	寺元 博美	
	○グリーンマーク商品の優先的な利用	寺元 博美	
	○エコマーク商品の優先的な利用	寺元 博美	
	○詰め替え可能な製品利用	寺元 博美	
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない重機等の使用 (低騒音、排ガス対策型重機等)	片岡 優弥	
	○環境負荷の少ない材料の優先的な使用 (再生砕石等の利用)	片岡 優弥	
	○工程管理を徹底し稼働率の向上	片岡 優弥	
社会貢献活動	○環境美化活動への参加と実施 (ロードボランティア活動・会社周辺清掃活動)	片岡 優弥	

【日程】

※空調設備の適温化(冷房時28℃暖房時20℃程度)夏6～9月 冬12月～3月

※上記以外の活動内容は通年

8・環境経営目標の実績

2023年度実績

項目	総量・原単位	単位	2021年度 実績 基準年	2023年度 目標 -2%	2023年度 実績	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	122		96.8		
燃料使用量			11,683	11,449	11,811	103.2%	△
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,609	5,497	5,609	102.0%	△
	原単位	(ℓ/百万円)	45.98	45.06	57.94	128.6%	×
軽油使用量	総量	(ℓ)	6,074	5,953	6,203	104.2%	△
	原単位	(ℓ/百万円)	49.79	48.79	64.08	131.3%	×
電力使用量	総量	(kwh)	6,746	6,611	7,610	104.9%	△
	原単位	(kwh/百万円)	55.30	54.19	78.62	145.1%	×
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	32,280	31,634	33,071	104.5%	△
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	264.59	259.30	341.64	131.8%	×
水使用量	総量	(m ³)	237.00	232.26	217.00	93.4%	○
	原単位	(m ³ /百万円)	1.94	1.90	2.24	117.8%	×
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	49	48	48	100.0%	○
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.4	0.5	126.0%	×
産業廃棄物排出量	総量	(t)	914.00	895.72	641.51	71.6%	○
	原単位	(t/百万円)	7.49	7.34	6.63	90.3%	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	85	85	94	110.6%	○
グリーン購入	総量	(%)	55	55	55	100.0%	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100.0%	○
社会貢献活動	総量	(回)	12	12	12	100.0%	○

※目標値は基準年から1年毎に1%ずつ段階的に削減しました。

※電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(令和3年度実績)

(令和4年1月31日公表)の四国電力の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kwh)を使用しました。

※グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

※環境負荷の少ない工事 (例)

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

※評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

○:目標を達成できている。(目標値以下または以上)

△:目標をやや未達成である。(±5%未満)

×:目標を未達成である。(±5%以上)

＜環境経営目標未達成等理由＞

ガソリン : 現場が遠方が多かった為、ガソリン補給頻度が増えたことのほか、従業員の増員もあり、使用量が増加し、目標未達成となった。

軽油 : 現場が遠方が多かった為、使用料等が増加し、目標未達成となった。

電力 : コロナ禍の中事務所内の窓を開けての換気の頻度が多かった為、エアコンの使用頻度が多くなり、目標未達成となった。

CO₂排出量 : 上記のとおり、燃料や電力の使用量が増加したため、目標未達成となった。

※これらは一過性のものであり、今後も削減を行い目標を達成していきます。

9・環境経営計画の取組結果とその評価

2023年度 期間:2023年3月～2024年2月

項目	活動内容	取組結果	評価		見直し	
			本社	現場		
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	・左記の取組は十分に出来ている。	○	○	・特になし
		○エコドライブの実施		○		
		○最短経路の利用		○		
		○タイヤ空気圧等の点検		○		
		○定期点検・メンテナンスによる適正利用		○		
	電力使用量 削減	○不要時の照明の消灯	・左記の取組は十分に出来ている。	○	○	・特になし
		○昼休み・帰宅時の消灯		○		
		○空調設備の適温化(冷房時28℃暖房時20℃程度)		○		
○OA機器の省電力設定かつ不使用時の電源停止		○				
水使用量削減 (排水量削減)	○節水シール貼付けによる啓発	・左記の取組は十分に出来ている。	○	○	・特になし	
	○漏水点検		○			
	○各現場における工事用水の節水		○			
	○食器類のまとめ洗い		○			
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷時の裏紙使用	・左記の取組は十分に出来ている。	○	○	・特になし
		○分別廃棄の徹底		○		
	産業廃棄物	○マニフェストによる廃棄物の適正な処理	・全社員に周知徹底できており、 取組結果は十分に出来ている。	○	○	・特になし
		○各現場における廃棄物の分別収集運搬処分		○		
グリーン購入	○エコバックの使用	・左記の取組は十分に出来ている。	○	○	・特になし	
	○グリーンマーク商品の優先的な利用		○			
	○エコマーク商品の優先的な利用		○			
	○詰め替え可能な製品利用		○			
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない重機等の使用 (低騒音、排ガス対策型重機等)	・左記の取組は十分に出来ている。	○	○	・特になし	
	○環境負荷の少ない材料の優先的な使用 (再生砕石等の利用)		○			
	○工程管理を徹底し稼働率の向上		○			
社会貢献活動	○環境美化活動への参加と実施 (ロードボランティア活動・会社周辺清掃活動)	・左記の取組は十分に出来ている。	○	○	・特になし	

【日程】

※空調設備の適温化(冷房時28℃暖房時20℃程度)夏6～9月 冬12月～3月

※上記以外の活動内容は通年

10・次年度の取組内容

(1)環境経営目標 (2024年度)

(1)単年度目標

項目	総量・原単位	単位	2021年度 基準年 2021.3-2022.2	2024年度 目標(-3%) 2024.3-2025.2
売上高		百万円	122	
燃料使用量			11,683	11,333
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,609	5,441
	原単位	(ℓ / 百万円)	45.98	44.60
軽油使用量	総量	(ℓ)	6,074	5,892
	原単位	(ℓ / 百万円)	49.79	48.30
電力使用量	総量	(kwh)	6,746	6,544
	原単位	(kwh/百万円)	55.30	53.64
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	32,280	31,312
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	264.59	256.65
水使用量	総量	(m ³)	237.00	229.89
	原単位	(m ³ /百万円)	1.94	1.88
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	49	48
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.39
産業廃棄物排出量	総量	(t)	914.00	886.58
	原単位	(t / 百万円)	7.49	7.27
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	85	85
グリーン購入	総量	(%)	55	55
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100
社会貢献活動	総量	(回)	12	12

※電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(令和3年度実績)
(令和4年1月31日公表)の四国電力の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kwh)を使用しました。

※グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

※環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用(例)

※化学物質については、使用実態が無いため目標を設定していない。

(2)環境経営計画

2024年度 期間:2024年3月～2025年2月

項 目		活 動 内 容	担 当 者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	片岡 優弥
		○エコドライブの実施	片岡 優弥
		○最短経路の利用	片岡 優弥
		○タイヤ空気圧等の点検	片岡 優弥
		○定期点検・メンテナンスによる適正利用	片岡 優弥
	電力使用量 削減	○不要時の照明の消灯	片岡 優弥
		○昼休み・帰宅時の消灯	片岡 優弥
		○空調設備の適温化(冷房時28℃暖房時20℃程度)	片岡 優弥
		○OA機器の省電力設定かつ不使用時の電源停止	片岡 優弥
水使用量削減 (排水量削減)	○節水シール貼付けによる啓発	片岡 優弥	
	○漏水点検	片岡 優弥	
	○各現場における工事用水の節水	片岡 優弥	
	○食器類のまとめ洗い	寺元 博美	
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷時の裏紙使用	寺元 博美
		○分別廃棄の徹底	寺元 博美
	産業廃棄物	○マニフェストによる廃棄物の適正な処理	片岡 優弥
		○各現場における廃棄物の分別収集運搬処分	片岡 優弥
グリーン購入	○エコバックの使用	寺元 博美	
	○グリーンマーク商品の優先的な利用	寺元 博美	
	○エコマーク商品の優先的な利用	寺元 博美	
	○詰め替え可能な製品利用	寺元 博美	
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない重機等の使用 (低騒音、排ガス対策型重機等)	片岡 優弥	
	○環境負荷の少ない材料の優先的な使用 (再生砕石等の利用)	片岡 優弥	
	○工程管理を徹底し稼働率の向上	片岡 優弥	
社会貢献活動	○環境美化活動への参加と実施 (ロードボランティア活動・会社周辺清掃活動)	片岡 優弥	

【日程】

※空調設備の適温化(冷房時28℃暖房時20℃程度)夏6～9月 冬12月～3月

※上記以外の活動内容は通年

作成日：令和 6年3月1日

承認	照査	作成
片岡 弘	片岡 弘	片岡 優弥

11・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守評価 判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	現場管理責任者	○
	第7条 13項	一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	各工事の 現場代理人	○
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物処理業者への委託 委託基準の遵守 (産業廃棄物の委託契約など)	必要時	各工事の 現場代理人	○
	第12条 10、11項	多量排出事業者(年間1,000t以上) の計画の都道府県知事(高知県知事)への提出・報告	必要時	現場管理責任者	○
	第12条の3	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	廃棄物排出時	各工事の 現場代理人	○
	第12条の3 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事(高知県知事)への提出	年1回 毎年6月末	現場管理責任者	○
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 (5年毎に更新)	期限切れ 3ヶ月前	環境管理責任者	○
	第14条 12項	産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分			
	第12条2項 規則第8条	保管基準の遵守 (保管場所の表示) ・見易い箇所に掲示板を設置 ・縦60cm以上×横60cm以上	必要時	現場管理責任者	該当無し
第16条	不法投棄の禁止	必要時	現場管理責任者	○	
第16条の2	不法焼却の禁止(一定の場合を除く)				
第21条の3.1項	建設廃棄物は元請業者が事業者				
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	第4条	原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部品を利用するよう努めなければならない。 建設工事に係る副産物の全部若しくは一部を再生資源として利用することを促進するよう努めなければならない。	必要時	各工事の 現場代理人	○
	第15条 第34条	(建設資材を使用するとき、指定副産物の排出をするとき) 建設業に属する事業を行なう者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める ・再生資源利用計画書(実施書)の作成・保存(竣工後5年間)、計画の工事現場での掲示(再生資源利用省令第8条) 建設業に属する事業を行なう者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める ・再生資源利用促進計画書(実施書)の作成・保存(竣工後5年間)、計画の工事現場での掲示(指定副産物利用促進省令第7条)			
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	各工事の 現場代理人	○
	第9条、第16条 第10条	○分別解体等の実施、再資源化の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事(高知県知事)に届出(発注者による)	必要時	各工事の 現場代理人	○
	第11条 第12条 第18条 第23条、 第24条	○公共工事の場合は届出に代えて通知 元請業者による事前調査、分別解体等の計画作成、発注者元請業者の発注者への再資源化等に関する報告、及び再資源化等の実施状況に関する記載の作成、保存 現場等における標識の提示 帳簿の備え付け			
労働安全衛生法	第10条	○労働者の安全又は衛生のための教育の実施と措置。	必要時	各工事の 現場代理人	○
	第28条 第88条	○建築物などの解体などでの作業での労働者の石綿ばく露防止や工事計画の提出。 (規則) ○労働安全衛生法に施行令に基づく『石綿障害予防規則』 作業を行う時は、外注先の石綿作業主任者による、作業計画及び、届出の実施を確認する。	必要時		
騒音規制法	第5条	○騒音規制基準の遵守(特定工場等)	必要時	各工事の 現場代理人	該当無し
	第6条	○特定施設の設置届 (特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出)	設置工事開始時		
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時		
	第15条	○規制基準の遵守(特定建設作業に適用)			

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	
振動規制法	第5条 第6条 第14条 第15条	○振動規制基準の遵守（特定工場等） ○特定施設の設置届 （特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出） ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出） ○規制基準の遵守（特定建設作業に適用）	必要時 設置工事開始時 必要時	各工事の 現場代理人	該当無し
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15 第18条の17 第18条の19 第18条の20 第18条の23	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査（一定の知見を有する者が調査：令和5年10月施行）発注者への調査結果の書面説明結果等の解体等工事場所へ掲示及び高知県知事への報告 ○特定粉じん排出等作業の実施届出（発注者による） ○対象建築材料の除去等の方法による作業の実施（元請業者・下請負人による） ○作業基準の遵守（元請業者・下請負人による） ○特定粉じん排出等作業の計画作成・計画に基づき作業実施（元請業者による） ○特定粉じん排出等作業の記録の作成・保存（元請業者による） ○作業終了後の発注者への報告・報告書面の保存（元請業者による）	必要時	各工事の 現場管理人	○
オフロード法 排出ガス対策型建設機械指定制度	第4条2項 第17条 第18条 第28条 施行令第2条	○使用者は特定特殊自動車排出ガスの排出抑制のための必要な措置を講ずるよう努力、国・県が実施する施策に協力 ○基準適合表示以外の特定特殊自動車の使用禁止 ○基準適合の状態での特定特殊自動車の使用（適合しない状態の場合、知事による基準適合のための整備命令） ○建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針 抑制指針の遵守 ・オフロード法の規制対象外である建設機械に対する排出ガス対策推進のために国土交通省が定めるもの ・排出ガス基準を定め、これを適合する建設機械を排ガス対策型建設機械として型式指定する	必要時	各工事の 現場管理人	○
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	環境管理責任者	○
水質汚濁防止法	第14条の4	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止のための必要な措置の実施	必要時	現場管理責任者	該当無し
消防法 （土佐市火災予防条例）	第8条 第10条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出） ○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジン油、マシン油	必要時 必要時	環境管理責任者 環境管理責任者	該当無し 該当無し
	第17条の3の2 条例第46条	○消防用設備等設置届書の消防署への提出 ○少量危険物貯蔵・取扱の消防署への届出等 （指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵等）	着工10日前 必要時	環境管理責任者 現場管理責任者	該当無し 該当無し
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第19条 第16条 第41条 第43条 第45条 第42条 第86条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○第1種特定製品の管理者の判断基準に基づく措置の実施 （定期点検の実施） ○廃棄物に際し、第1種フロン類充填回収業者へのフロン類引き ○回収業者又は引渡の受託者に回収依頼書、委託確認書を交 ○回収業者からフロン類の引取証明書の受取、保存（証明 ○解体工事元請工事は、解体前に第1種特定製品の設置の有無を確認発注者に書面交付説明（交付書面の写し保存） フロン類の放出の禁止	年1回 必要時 簡易定期点検：	環境管理責任者 環境管理責任者	○ ○
省エネルギー法	第4条 第5条	○エネルギー使用者のエネルギーの使用合理化への努力、電 ○判断基準（エネルギー使用の合理化に係るもの、非化石エネ 電気需要最適化指針に基づく取組の実施	必要時	環境管理責任者	○
建築物省エネルギー法	第6条 第11条 第19条 第28条 第27条	建築主による建築物エネルギー消費性能基準への適合努力 特定建築物の増改築等に際しての建築物エネルギー消費性能基準への適合 ※第12条：消費性能確保計画の提出、適合判定、建築確認 特定建築物以外の建築物の増改築等に際しての消費性能確保計画の届出 住宅事業建築主基準への適合の努力義務 建築士による小規模建築物の新築等の設計に際しての消費性能基準への適合等の建築主への書面説明	必要時	環境管理責任者	○
地球温暖化対策推進法	第23条 第25条	○事業活動に伴う排出削減等の努力 ○排出削減等指針	必要時	環境管理責任者	○
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	現場管理責任者	○
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	環境管理責任者	
土佐市環境美化条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全	必要時	環境管理責任者	

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

R5年3月よりR6年2月までの違反状況の確認の結果環境関連法規等への違反はありません。また過去3年間にわたって関係当局による違反等の指摘や訴訟はありません。

代表者
片岡 弘

12.代表者による全体評価と見直し・指示

- 定期見直し
 □臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し・指示	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等に関し、違反・訴訟はありません。				変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 特になし				「企業理念」や「経営における課題とチャンス」などをより明確に示す方針に変更する。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 特になし				【環境経営目標・環境経営計画】	
④環境への負荷状況 従業員の増員が有り燃料及び電力等の使用料が増加				変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<改善提案> 特になし				取り組み活動が全社員に周知徹底されている。 今後も、気を引き締め取り組んでいく。 なお、環境経営目標について、見直し(本社等と工事現場の区分)を検討する。	
【環境経営目標・環境経営計画の達成実施状況】				【実施体制】	
※評価 目標:○達成、△やや未達成、×未達成 計画:○できた、△あまりできなかった、×できなかった				変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 実施状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	環境経営に関する役割・責任・権限は現状では有効に機能しており、変更の必要性はない。	
電力使用量	△	○	目標値をやや未達成である		
燃料使用量	△	○	目標値をやや未達成である		
CO2排出量	△	○	目標値をやや未達成である		
水使用量	○	○	良く出来ている		
一般廃棄物排出量	○	○	良く出来ている		
産業廃棄物排出量	○	○	良く出来ている		
産業廃棄物再資源化率	○	○	良く出来ている		
グリーン購入	○	○	良く出来ている		
環境負荷の少ない工事	○	○	全工事で実施できている		
社会貢献活動	○	○	活動がよく出来ている	【その他】	
<改善提案> 活動自体は大変良く出来ている。 今後も目標達成に向けて取り組んでいく。				変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
【周囲の変化の状況】				特に無し。	
①外部とのコミュニケーション 外部からの苦情・要望はありませんでした。				【総括】	
②環境関連法規制等の動向他 特になし				・事務所の換気の励行や遠方の現場等への移動が求められたほか、従業員の増員もあり、電力や燃料の使用量が増えました。	
<改善提案> 特にありません				・達成できなかった要因は決してマイナスな事ばかりではありません。	
代表者が自ら得た情報				・法遵守については違反は無く、外部からの苦情もありません。	
なし				・今後も環境負荷の低減に取組み環境保全に貢献して行きたいと思えます。	